



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

〒160-0002 東京都新宿区坂町28-6 坂町Mビル2F 03-5919-3261

発行人 松本達也

第8回定期大会を開催



更なる組織拡大と産別機能の強化にむけ方針を補強

サービス連合は、7月16日に東京・ホテルラングウッドにて、「第8回定期大会」を開催しました。

定期大会には、役員・代議員・傍聴者など234名が出席し、「2008 春季生活闘争のまとめ」、「2007～2008 年度運動方針中間のまとめと補強」、「2008 秋闘・2009 春季生活闘争方針」、「サービス連合規約・規定類の改正と新設」、「2007 年度決算報告・会計監査報告」、「2008 年度予算案」の各議案を執行部が提案し、代議員の質疑を受けた執行部答弁後、すべて原案どおり満場一致で採択しました。第7回定期大会で採択された2年間の運動方針を基軸に、組織拡大と産別機能の強化にむけ2008年度がスタートしました。

満場一致で各議案を採択

西川副会長の司会で開会した定期大会は、山口代議員（都ホテルズ&リゾート労連）と鈴木代議員（日本旅行グループ労連）の両氏を議長団に選出し議事に入りました。

大会の冒頭、挨拶をした笠原会長は、2007年度に取り組みを行った「2008 春季生活闘争」、「派遣添乗員の労働条件改善」に触れ、サービス・ツーリズム産業労働者の社会的地位向上の実現にむけ、産業全体の底上げと雇用形態の違いを乗り越えた運

動継続への理解を求めました。また、2007年度は組織人員の回復がはかられたことを報告し、引き続き過半数に達していない加盟組合など組織拡大への取り組み強化の決意を表明しました。

続いて、来賓としてお迎えした連合高木会長より、現下の物価高騰を受け、連合として具体的な対応策を取りまとめ、政府をはじめとする関係機関に対して緊急対策を講ずるよう提言し



笠原会長



高木会長

ていく考えの表明をはじめとする連帯の挨拶を頂戴しました。
各議案については、執行部からの提案と代議員からの質疑を行った後、全て原案どおり採択されました。



左：山口議長
右：鈴木議長

岩手・宮城内陸地震被災地へ 組織カンパを実施しました。

各議案や会長挨拶要旨など詳細については、サービス連合ホームページ (<http://www.net-stu.com>) に掲載しています。

2008年度運動方針の補強要旨

組織拡大については、2008年度の目標を「組織人員 45,000人の実現」に据え、企業内・関連組織の組織拡大を取り組みの柱に、加盟組合との連携を深め進展を目指すこととします。また、派遣添乗員ネットワークを組織局の常設委員会とし、独立系の派遣会社での組織拡大にも取り組むこととします。

政策課題については、加盟組合や機関会議と連携をはかり方針や基準策定にむけ掘り下げた議論が行うことができるよう、政策委員会と課題別のワーキンググループを設置し取り組むこととします。また、「35歳年収550万円」の実現にむけた具体的行動計画の策定やグリーンブック・ブルーブックの改正、統一基準策定についても議論を開始し取り組むこととします。

各地連と連携においては、本部組織局の任務に地連担当を追加し一体感のある活動を目指します。さらに、組織拡大に関する研修会や、賃金実態調査にむけた研修会を各地連で開催することとします。

組織・財政課題については、2008年度は結論を導き出す最終年度と位置づけ、2009年度体制を、財政基盤に見合ったかつ効率的な組織体制・役員体制として確立するため議論を加速させます。財政課題では、9月からの新会費導入に伴い、会費収入の減額が避けられないなか、支出削減にむけ精査を加えるとともに、効率的な運用を行うことを目的に特別会計の再編成を行うこととします。

2008秋闘は一時金と多くの加盟組合が改訂期にあたる労働協約を中心に取り組むこととし、10月の中央執行委員会で方針を確立することとします。また2009春季生活闘争は、十分な準備や議論を行ったうえで、「35歳年収550万円」を目指し1月の中央委員会で確認することとします。また、裁判員制度への対応についても引き続き取り組むこととします。

新たな加盟組合を歓迎

2007年度は、新規加盟組合が11組合2,224名となり多くの仲間が加わりました。大会当日には、ジャッツ関西労働組合鈴鹿委員長、ツーリストエキスパーツ労働組合金田執行委員長、ツーリストサービス北海道労働組合城地執行委員長、阪急トラベルサポート添乗員労働組合田宮委員長、日旅九州エンタプライズ労働組合治郎丸執行委員長からそれぞれ挨拶を頂き、会場からは歓迎の拍手が起こりました。



上段左：鈴木委員長
上段中：金田委員長
上段右：城地委員長
下段左：田宮委員長
下段右：治郎丸委員長

また、組合員範囲拡大や新規労働組合結成など組織拡大への取り組みに対し、近畿日本ツーリスト労働組合へ組織表彰を行いました。



組織表彰を受ける
近畿日本ツーリスト労働組合
森執行副委員長

本部役員2名を補選

第8回定期大会では、2008年度本部役員2名の補選を行い、峯島仁中央執行委員・政策局次長(トップツアー) 村田尚應特別中央執行委員・労働情報センター(JTBグループ労連)の2名を選出しました。

また、今大会をもって渡辺武前中央執行委員・政策局次長(トップツアー労働組合) 勝村良子前特別中央執行委員・在ウクライナ日本国大使館派遣(日本旅行グループ労連) 山口浩正前特別中央執行委員・労働情報センター(JTBグループ労連)の3名が本部役員を退任され、役員退任慰労表彰を行いました。本当におつかれさまでした。



左：村田特別中執
右：峯島中執